

評価領域	特色ある教育課程
------	----------

重点目標	「地域と共に育ち、共生社会の形成に寄与する学校づくりの推進」	P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵まれた自然環境や地域の優れた人材（アップルサポーター）を活用した本物の体験や交流及び共同学習をはじめとする地域学習を積極的に展開している。 ・ 商店街等の花いっぱい運動や清掃活動、自分たちで育てたりんごの販売活動、リンゴレンジャー公演による交通事故やいじめ防止を呼び掛ける地域貢献活動に取り組んでいる。 ・ 小規模校の強みを生かした全校縦割り活動として、りんご栽培、全校体力づくり、全校清掃（ピカピカタイム）を行っている。 ・ 障がい児入所施設東山学園生が2割程度在籍している。発達障害を併せ有したり、家庭・養育環境に課題を抱えたりする児童生徒が在籍しているため、関係機関との連携が不可欠である。 	
具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全教育を徹底しながら、地域学習を年間指導計画の中心に据え、校内外での学びを深めることにより、実際場で発揮できる「本物の力」を育む。 2 令和7・8年度は「心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解の推進事業」のモデル校として、鹿角市立花輪小学校と交流及び共同学習に関連付けた障害理解授業や保護者、地域住民の障害理解を推進する。 	
目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域学習を系統的・発展的に計画するとともに、豊かな地域資源（自然・人・もの・文化等）を有効に活用する。 2 児童生徒が校外に出掛けて地域の方々と直接触れ合ったり、交流及び共同学習等でアンケートを取ったりして、地域のニーズを把握し活動内容に盛り込む。 	
具体的な取組状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 小学部は地域の方に触れ合いながら探検を行い、中学部は校内実習の一環として、鹿角市総合運動公園の清掃・除草作業を実施した。高等部は保育園児や小学校児童を対象としたリンゴレンジャー公演を通して、交通安全やいじめ防止の啓発活動に取り組んだりした。平成27年から継続してNEXCO 東日本と協働で花いっぱい運動を実施したことによりNEXCO 東日本より感謝状が贈られた。 2 交流及び共同学習を行う際、ミニ学校展を同時に開催した。相手校の担当者と連携して障害理解授業、交流を進めることができた。全ての交流実施後にアンケートをとり、次回の改善へとつなげた。 	D

達成状況	<p>1 学校間や地域との交流及び共同学習は、年間 37 回実施した。高等部は鹿角高校産業工学科と東北自動車道花輪サービスエリアの花壇に設置する看板を共同で製作した。</p> <p>2 「心のバリアフリー推進モデル地区における障害理解の推進事業」では、花輪小学校 3 年生と学校間交流を 2 回行った。保護者への参観やミニ学校展で交流の様子を展示し QR コードでのアンケートを呼びかけたが、保護者の参加やアンケートの回答はなかった。</p>	D
------	---	---



自己評価	<p>(評価) B</p> <p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動では、生徒が地域の一員として自信をもって地域の方と協働で活動に取り組んだり、触れ合ったりする姿が見られた。リンゴレンジャー公演での感謝される機会から、地域に貢献できる喜びを実感するとともに、自己肯定感や自己有用感が高まった。 花輪小学校とは継続的に学校間交流及び居住地校交流を行うことができ、充実した交流を行うことができた。しかし、事業の目的の一つである保護者や地域住民の障害理解に広げるところまではできなかった。 	C
------	---	---



学校関係者評価と意見	<p>(評価) B</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> リンゴレンジャーの取組は素晴らしいと思うので、もっと宣伝してもよい。地域の人に広く呼び掛けてはどうか。 総合防災訓練は保護者への引き渡しを想定したところまで行うことができよかった。地域を巻き込んだ訓練を引き続き行ってほしい。 地域人材の活用が多様で、子どもの力になっている。 地域と保護者との交わる機会を多くしてはどうか。地域貢献活動や交流及び共同学習や販売活動等、地域と子どもたちが交流している様子をぜひ見てほしい。 	C
------------	--	---



自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 安全教育を徹底しながら、特色ある教育活動を一層充実させる。 不登校や生徒指導上の課題に組織で迅速かつ予防的に対応し、安心して学校生活ができる環境を整備する。 児童生徒の強みや思いと地域のニーズとを重ね合わせた地域貢献活動を実施するとともに、地域との協働活動を一層推進する。 心のバリアフリー推進モデル地区の取組の様子を花輪小学校との協働でまとめ、市役所やコモッセなど地域住民の出入りが多い施設に展示し、広く地域へ発信していく。保護者が参観しやすい行事等に併せて学校間交流やリンゴレンジャー小学校公演を計画する。 	A
-----------------------	--	---